

<祝！金沢初公演>

近藤良平とハンドルズによるダンス公演

「初めての そんなふうな 気がしない」 手話通訳付き



「どうするの あしたのよていが きになるの」 1
(H29:10.21 公演) @ 埼玉県

学ラン姿のダンス集団コンドルズ主宰の近藤良平と埼玉県の障がいのある方が長期間ワークショップを行い、公演を重ねてきたダンスカンパニー「ハンドルズ」。

初の遠征公演として3/11に金沢にやってきます！「障がい者」のダンスではなく、「障がい者」も「健常者」も区別なくみんなが楽しめる、ユーモアと愛情あふれるエンターテインメント。

金沢では「金沢の仲間たち」と金沢在住ダンサー、なかむらくるみがゲスト出演を果たします。

事前告知、取材のご協力をよろしく申し上げます。

イベント名	近藤良平とハンドルズによるダンス公演「初めての そんなふうな 気がしない」
日時	2018年3月11日(日) 15:00開演(14:30開場)
会場	金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア(金沢市大和町1-1)
料金<全席自由>	チケット発売中 一般:2,000円 割引:1,000円(障がいのある方及びその介助者、高校生以下) ※車いすの方、手話通訳を利用される方、ほか鑑賞時に配慮ご希望の方はあらかじめ交流課へお申し出ください。
チケット取扱い	友の会会員特典(要会員証):チケット料金1割引※ミュージアムショップ、友の会専用ウェブサイト予約、当日受付にて取扱 金沢21世紀美術館 ミュージアムショップ(店頭販売のみ)、ローチケHMV(Lコード 52305)、 チケットぴあ(Pコード 483-955)
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催	埼玉県、彩の国さいたま芸術劇場[(公財)埼玉県芸術文化振興財団]
企画制作	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]、 埼玉県、彩の国さいたま芸術劇場[(公財)埼玉県芸術文化振興財団]
助成	平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
協力	特定非営利活動法人 地域支援センターポレポレ、社会福祉法人 佛子園 エイブルベラングBe
後援	北國新聞社、北陸放送、石川テレビ、テレビ金沢、エフエム石川
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811 Email: kou@kanazawa21.jp

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館 事業担当: 黒田 広報担当: 川守
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

2012年ロンドンオリンピック開催時より注目を集める障がいのあるアーティストや参加者による身体表現。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本でも関心が高まりつつあります。

しかし、作品の「芸術性」「創造性」を認められる障がい者による身体表現活動は未だ少ないのが現状です。そんな中で、東京オリンピック開催が決まる前の2009年から埼玉県で活動してきたのが「ハンドルズ」です。学ラン姿で踊る人気ダンサー/振付家・近藤良平と、埼玉県内の障がい者とがワークショップを重ねて結成されました。その名は、半分コンドルズ(「コンドルズ」を目指すはまだ未熟…)、ハンディキャップ、ハンドリング(車いすの操作)に由来します。彩の国さいたま芸術劇場での6回の公演を重ねて、今回、初の遠征公演として金沢にやってきます。

金沢公演では、ゲストとして金沢の仲間たちと金沢在住のダンサー・なかむらくみが加わります。金沢でのワークショップで出会った新たな仲間たちと一緒に、近藤良平が新たな作品を創作します。

障がいの有無にかかわらず作品の芸術性や創造性を評価し、障がいのある方と健常者が一緒になって舞台を楽しむ機会となれば幸いです。

構成・振付：近藤良平(コンドルズ)

出演： ハンドルズ金沢遠征メンバー、
 近藤良平(コンドルズ)、山本光二郎(コンドルズ)、ぎたろー(コンドルズ)
 武井誠(手話バンドこころおと代表/手話通訳士)

ゲスト： 金沢の仲間たち、なかむらくみ(ダンサー・金沢在住)

観ると、やみつきになる！ 観ないと、こうかいする！

ハンドルズの破壊力と笑撃力と生命力に、

あなたの「心の壁」が打ち砕かれること、間違いありません。

前田哲(映画「いのちのダンス」監督)

※「いのちのダンス」とは2016年のハンドルズ埼玉公演のドキュメンタリー映画

関連企画

金沢の仲間たちとワークショップ開催！

本番に向けて近藤良平が金沢の仲間たちと出会い、一緒に作品を作り上げていきます。下記の概要でワークショップを開催しますのでご取材いただきますようお願いいたします。

2018年2月4日(日) 14:00~16:00

金沢21世紀美術館 シアター21

講師:近藤良平

アシスタント:なかむらくみ(ダンサー・金沢在住)

参加者:金沢の仲間たち(2017年8月12日に行われた第1回のワークショップに集った参加者約14名)

注意事項

15:00からワークショップの様子をご覧いただけます。

撮影にあたりましては、現場での諸注意に従ってください。

ワークショップ後、個別のインタビュー取材などを約30分受け付けます。

取材の際には事前に必ずお申込みください。

取材申込先:金沢21世紀美術館 広報室 076-220-2814(9:30~18:15)

プロフィール



2 Photo: HARU

近藤良平 (コンドルズ主宰・振付家・ダンサー)

ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。コンドルズ主宰。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。TBS系列『情熱大陸』、NHK総合『地球イチバン』等出演。NHK教育『からだであそぼ』内「こんどうさんちのたいそう」、『あさだからだ!』内「こんどうさんとたいそう」、NHK総合『サラリーマンNEO』内「テレビサラリーマン体操」などで振付出演。『AERA』の表紙にもなる。他にも野田秀樹演出 NODA・MAP『パイパー』に振付出演。野田秀樹演出、NODA・MAPの四人芝居『THE BEE』で鮮烈役者デビュー。前田哲監督映画『ブタがいた教室』に役者として出演。サントリー BOSS『シルキーブラック』TVCMにも出演。NHK連続テレビ小説『てっぺん』オープニング振付、三池崇史監督映画『ヤッターマン』、宮崎あおい主演『星の王子さま』などの振付も担当。女子美術大学、立教大学などで非常勤講師としてダンスの指導もしている。愛犬家。



3

ハンドルズ

近藤良平と埼玉県内の障がい者が長期間のワークショップを経て平成21年に結成したダンスカンパニー。半分コンドルズ(コンドルズを目指すはまだ未熟…)、ハンディキャップ、ハンドリング(車いすの操作)に由来。出演者のアイデアで命名。金沢遠征メンバーは8名。石村良之(よっしー)、小倉正裕(まーぼー)、川上正太郎(しょーたろー)、小林靖幸(やっくん)、篠原誠(まこっちゃん)、須賀亜未香(あみか)、杉浦淳子(じゅんこ)、堀口旬一朗(しゅん)。

公演歴

2009年「突然の、何が起ころか わからない」
 2011年「適当に やっていこうと 思ったの」
 2013年「僕はもう 動いてないと ダメなんだ」
 2015年「いつまでも 親のすねは かじれない」
 2016年「どうしても やりたいことが ありまして」
 2017年「どうするの あしたのよていが きになるの」
 2018年、いてもたってもいられず金沢へ。
 「はじめての そんなふうな 気がしない」



4

武井 誠 (手話バンドこころおと代表 手話通訳士)

東京都出身。手話通訳士。文教大学講師。両親ともろう者の家庭に生まれ、手話のネイティブサイナー「CODA(コーダ)」として育つ。ネイティブサイナーとして手話と音楽の融合を志し、大学在学中に手話バンド『こころおと』結成。SPEEDや遊助、藤田恵美など様々なミュージシャンとの手話とのコラボレーションを行う。卒業後音楽活動の傍ら日本テレビ系『新・星の金貨』やTBS系『すずがくれた音』等のテレビドラマの手話指導、『バベル』や『ゆずり葉』などの映画協力、劇団かしの木による『みるコンサート物語』公演の手話監修・通訳、企業での手話コーディネート、各地における手話教室の講師等も行っている。

広報用画像

画像1～6を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングをご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。



5 「どうするの あしたのよていが きになるの」
(H29:10.21 公演)@埼玉県



6 「どうするの あしたのよていが きになるの」
(H29:10.21 公演)@埼玉県



7 「どうするの あしたのよていが きになるの」
(H29:10.21 公演)@埼玉県